

# さかさまの国

シリーズ～新イエス～

2025/3/16

## ルカ福音書6章20～21節

さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。

貧しい人々は、幸いである、

神の国はあなたがたのものである。

今飢えている人々は、幸いである、

あなたがたは満たされる。

今泣いている人々は、幸いである、

あなたがたは笑うようになる。

## ルカ福音書6章24～25節

しかし、富んでいるあなたがたは、不幸である、

あなたがたはもう慰めを受けている。

今満腹している人々、あなたがたは、不幸である、

あなたがたは飢えるようになる。

今笑っている人々は、不幸である、

あなたがたは悲しみ泣くようになる。

# 「平地の説教」

## •「山上の垂訓」(マタイ版)との違い

- 「イエスは彼らと一緒に山から下りて、平らな所にお立ちになった。」(ルカ6:17)という設定で語り始めているので、「平地の説教」と呼ばれる

## •「心の」があるかないか

- マタイ版は「心の貧しい人々は、幸いである」

## •「不幸」の言及があるかないか

- ルカ版には「不幸である」人々が述べられている

## •誰にかかりかけているか

- マタイ版は「その人たち」ルカ版は「あなたがた」

# これらの違いをどう説明するか

- イエスは両方とも話された

- ある時は「心の貧しい者は幸い」と言われ、ある時には「貧しい者は幸い」と言われた

- 元々一つの記録だったが、それぞれの福音書記者が強調点を変えて記した

- 最終的な編集者である聖霊の許容のもとで伝わっている
- どちらかが正しい／間違っているということではなく、両方ともイエスの意図を表している

# 貧しい人々は、幸いである

## • “大逆転宣言”

- この世界において「貧しい人々」は不幸である
- この世界(人の国)で“幸せに”生きていくためには「富」が不可欠である
- しかしイエスは、「幸い」と宣言した！
- こんな宣言をした人は後にも先にもイエスだけ

## • 幸いなのは「神の国」が与えられているから

- 「神の国」とは“神の愛による支配”のこと
- 「神の国」は何物にも代えがたい価値がある
- 「あなたがたのもの」とは既にその住人である

# 「富」の問題

- なぜ「貧しい人々」が生まれたのか

- 人間が作り出した「富」の偏りによる
- 平等に分けられれば問題はないが…

- 「富」を神としてしまう人間

- 「どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

ルカ16:13

- 人類はこぞって富に仕えている
- 富は、奪い・蓄え・独占するように仕向ける

# 「富」の問題

## •なぜ「貧しい人々」が生まれたのか

- 人間が作り出した「富」の偏りによる
- 平等に分けられれば問題はないが…

## •「富」を神と

- 「どんな召しに仕えることはできない。一方に仕えるか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

ルカ16:13

- 人類はこぞって富に仕えている
- 富は、奪い・蓄え・独占するように仕向ける

人の国(支配)  
による被害者

# 富んでいるあなたがたは、不幸である

- さらなる“大逆転宣言”

- この世界では富んでいる人こそ不幸な人である

- 「あなたがたはもう慰めを受けている」から

- 富んでいることで報いられている

- しかし、神からの慰め(報い)を受けることができない

- 神はこの世で報いを受けられなかった人たちに目を留めておられる

- 歪んだ「人の国」の被害者である貧しい人々を神は放っておかれない

# 今飢えている人々は、幸いである

## •これも“大逆転宣言”

- 飢えている人が幸福だと思えるはずはない

## •世界の飢餓人口

- 2023年、世界の飢餓人口は約7億3300万人。  
11人に1人が飢餓状態である
- 日本でも子ども7人に1人が貧困状態にあり、  
満足にご飯が食べられない

## •「あなたがたは満たされる」から

- この文章は「未来形」である
- やがて訪れる終末において満たされる約束

# 今満腹している人々は不幸である

- 満腹して喜んでいる「私たち」への警告
  - 他人事ではありません！
- 飢えている人たちを作り出しているのは満腹している人たちである
  - 世界の食糧生産のうち3分の1が捨てられている
  - これは約20億人分の食料に当たる
  - 日本の「フードロス」は612万トン(2017年推計)  
> 1人当たり毎日お茶碗1杯捨てている！
- 「あなたがたは飢えるようになる」
  - 自分さえ満足すればよいと思っていたら…

# 今泣いている人々は、幸いである

- 絶対にそうは思えない“大逆転宣言”

- 泣いているのは不幸だから

- 神は「泣いている人々」を知っておられる

- 「わたしはあなたの祈りを聞き、涙を見た。」

- (列王下20:5／ヒゼキヤ王に対して)

- 「今笑っている人々は、不幸である」

- 「泣いている人々」を踏み台にして「笑っている」  
人々に対する警告

- 決して“笑ってはいけない”という意味ではありません！

# これらの宣言の意味

- 神(イエス)は私たちの苦しみ・痛み・悲しみを  
知っておられ、心を痛めておられる
  - 人類の不幸を無視してはいない
- 「人の国」が作り出した不幸を「神の国」が解決する(大逆転)
  - 神は貧者・弱者の味方である
- **これは神としての約束である**
  - 単なる“希望的観測”を述べたのではない
  - **イエスは自らの責任で神の国を実現すると、約束されたのである！**

# 終末における解決

それゆえ、彼らは神の玉座の前にいて、昼も夜もその神殿で神に仕える。玉座に座っておられる方が、この者たちの上に幕屋を張る。

彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、太陽も、どのような暑さも、彼らを襲うことはない。玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり、命の水の泉へ導き、神が彼らの目から涙をことごとくぬぐわれるからである。

(黙示録7:15-17)

貧しい人々は、幸いである、  
神の国はあなたがたのものである。  
今飢えている人々は、幸いである、  
あなたがたは満たされる。

ルカ福音書6章20～21節